

# 2022. 3. 14

## Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動

### やっぱり今年の冬は寒かった

春の花 過去6年間の開花状況(大門地区)

### 春の野草

## 全体的に開花が遅くなっています

2016年の観察日	1/7	1/11	1/18	1/25	2/7	2/15	2/22	3/6	3/8	3/14	3/22	3/26	3/29	4/7	4/12	4/13	4/15	5/2	5/9	5/23	
	1月			2月			3月			4月			5月								
ニリンソウ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
フラサバソウ																					
オオイヌノフグリ																					
ホトケノザ																					
ヒメオドリコソウ																					
タチツボスミレ																					
ヤエムグラ																					
オドリコソウ																					
ジロポウエンゴサク																					
ムラサキケマン																					
セントウソウ																					
ヤブニンジン																					

この表は、2016年から21年までの6年間の植物の開花状況を記録したもので、大門地区の春の代表的な種を抜き出してみました。水色枠線が3月中旬で、3/14のモニタリングの日にあたるのですが、いちばん上段のニリンソウを見ると、3月の初めからちらほらと咲き始め中旬には全開になっていたのですが、今年3/14のモニタリングでは咲いてはいるけれど「ちらほら」以前の「ぽっちり」咲きでしかありませんでした。

その他、この数年間で春一番の花だったフラサバソウは例年では2月から咲き始めていたのに、今年は3/14でようやく本格開花。

ニリンソウに先駆けて咲くオオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウも3/10過ぎにやっと咲き出したのだから、今年の冬は寒かったということです。

## 殺風景な景色の中でも・・・



それでも、3/14のモニタリングでは、前ページの表の**タチツボスミレ**（の春先の姿）まで開花を観察、ヤエムグラはまだ咲いていませんでした。



オドリコソウ以下の種は昨年まででも3月下旬開花ですからまだ見られなかったのもうなずけます。



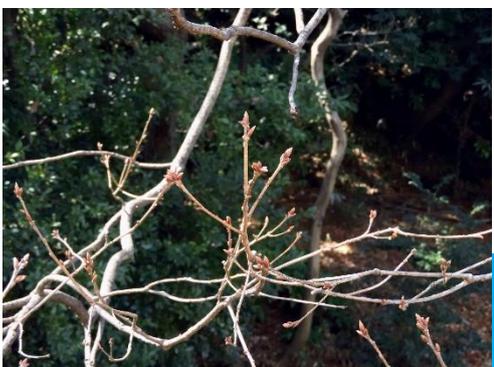
↑殺風景な中で、大門では**ウバユリ**の枯れ残りが日の光を浴びてきれいに輝いていました。これ、冬の風情を楽しむために刈り取らずに残しているものです。

←城址西端の小公園横では、ニリンソウとキツネノカミソリが増えてきました。キツネノカミソリは夏になる少し前に開花するはず。この場所はハナダイコンもあり、春も夏も連続して花を楽しめる場所になりました。

## 樹木の新芽は今が見どころ



「花が少ない」と言って嘆くことはありません。上を見上げれば、木々の芽出しがきれいで可憐です。右上は**ケヤキ**の芽吹き、その下の**イヌシデ**は葉を出す前にもう花の蕾を持っていました。左上の2枚は上から**イロハモミジ**と**コナラ**の新芽吹き。



### 今年のニリンソウ月間は

### 3/19(土)～4/17(日)

★期間中、月曜日のモニタリングは一般公開の春の植物観察会 9:00 ため池公園

★土・日の午前中は大門地区でニリンソウガイドあり 10:00～12:00

★ニリンソウ観察 Day は 4/3日(日) 10:00～15:00

問合せ：赤塚公園サービスセンター 03-3938-5715